

市長表彰

題名	ミーティングスペースの創設
提案内容	<p>現在、リモート会議も増えてきているが、自席では電話が鳴ったり、他の職員の電話の声や来客対応の声、話し声などで、リモート対応がしにくい環境にある。そのため会議室を予約して利用しているが、会議室の数が少ない為、長期的な作業が行われたり、他の会議と重なってしまうと会議室が利用出来ないことがよくある。</p> <p>広域行政センターの学習ホール左手前に来客用のスペースがあるが、そこにコクヨのWORKPOD FLEXのようなフルクローズ型のワークスペースを設置することで、打ち合わせ対応やリモート対応が取れるので、空きスペースがあればそういったミーティングスペースの創設をお願いしたい。</p>

題名	クールビズ・ウォームビズの通年化について
提案内容	<p>秋田県では令和4年4月からクールビズ・ウォームビズの期間設定を廃止し、年間を通じて職員各自が判断して実施することとしております。職員ひとりひとりの体調管理が楽になりますし、空調の使用削減による省エネ効果も期待できるかと思われまます。</p>

佐々木副市長表彰

題名	選挙事務及び開票事務の電子申請による募集
提案内容	<p>選挙事務従事者はこれまで、慣例または担当職員の人脈による人員確保となっているが、選挙事務や開票事務をやりたくても声がかからない職員がいるのではないかと。そのため、電子申請にすることで声がかからない職員にも広く募ることができる。また電子申請にすることで個人に確認をとる必要もなくなり、担当職員の事務の軽減にも繋がるのではないかと。</p>

題名	職員への災害メール送信時における動員体制等の記載について
提案内容	<p>「災害時職員ポケットマニュアル」を携行することで動員等の確認を行うことになっているが、対策本部等を設置した際の災害メールに「第〇動員」等の記載をすることで、職員自らの動きが容易に把握することができるものと思われる。</p> <p>伝達もれの一助にもなると思われるので、ぜひ対応いただきたい。</p>

### 三森副市長表彰

題名	ビデオ通話等による来庁者の移動の削減
提案内容	<p>本庁、各総合支所へ相談等に来所された際に、内容によっては本庁→各総合支所（又はその逆）、市民窓口→鶴舞会館など来庁者が移動若しくは職員が出向くことなどが多くあります。</p> <p>近い所であれば移動するのも問題は無いのですが、現在 Teams で繋がっている状況であれば、ビデオ通話等をつなげ移動に伴う手間や問合せ等によるお伝えする際の説明の誤解を直接担当者と来庁者が話をすることで少なくできるのではと思っています。</p> <p>計画の中ではいずれ端末を導入の様ですが、現在でも通信できる状態であればそれを活かして来庁者及び職員の負担を軽減できないか。</p>

題名	若手職員研修について
提案内容	<p>2～3年目くらいを対象とした、議会や予算（年間スケジュールや、業務にあたりどのような作業を要するのか）、入札の流れや仕組み、入札連携システムの使い方の研修の開催。</p> <p>担当課に関わらず役立つ知識となり、また同世代職員と様々情報共有できる場にもなると思います。</p>